

市の出来事から

子育ては1人で悩まずにこちらへ



市役所本庁舎2階の健康福祉部内に設けられた相談窓口

どものことで分からないこと、疑問に思うこと、意見などをどんどんお寄せください。子育て相談ダイヤル、電子メールなどもお気軽にご利用ください。

■相談ダイヤル ☎2111
内線256（毎週月曜日から金曜日、午前8時30分から午後5時15分まで）
■電子メール ☐ kodomo@city.oshu.iwate.jp

2人のお年寄りがめでたく満百歳



今月は、7月に満100歳を迎えながら前号で紹介できなかった水沢区の鈴木ユリ子さん、新たに100歳を迎えた江刺区の佐藤ミツヲさんを紹介します。

鈴木ユリ子さんⅡ山崎町Ⅱは、30代で重い病気にかかり、長年闘病生活を続けてきました。家族の助けを受けながらも、自分で体調をしっかりと管理してきたことが長寿につながりました。

市役所本庁舎正面玄関前に、市民憲章が刻まれた石碑が建立されました。水沢中央ライオンズクラブ（佐藤英耕会長）が、創立40周年記念事業として市に寄贈したものです。

市民憲章碑の受贈式は8月29日に行われ、同クラブや市の関係者が見守る中、佐藤会長と相原正明市長が除幕しました。縦約1・4メートル、横約1・7メートルの重厚な市民憲章碑が現れると、一斉に拍手が沸いていました。

同クラブは旧水沢市にも市民憲章碑を寄贈しており、佐藤会長は「市民憲章を、市民の誇りと自信のよりどころとしていきたい」とあいさつ。相原市長は「市民の意識を高め、大切に活用していきたい」と感謝していました。



石碑の前に晴れやかな表情のライオンズクラブ関係者

佐藤ミツヲさんⅡ田原字駒場Ⅱは、手先が器用で、布団のリフォームからセーターの編み直しまで何でもこなしました。目や耳は弱くなりましたが、体は病気が知らずだそうです。

鈴木さんには7月20日、佐藤さんには8月5日、各区の自治会長が市からの記念品を贈りました。

※鈴木ユリさんは、入院治療中につき写真の掲載を控えしました。

平成19年度 夏の成人式 成人おめでとう

真夏の厳しい暑さが続く8月15日、江刺、前沢、胆沢、衣川の各自治区で夏の成人式が行われ、合わせて723人が出席しました（水沢区は来年1月開催）。ことしは江刺区で376人、前沢区で184人、胆沢区で225人、衣川区で81人が大人の仲間入りを果たしました。

式典は各会場とも厳かな雰囲気で行われましたが、終了後は一転して和やかな雰囲気に。お互いに写真を撮り合う姿が多く見られました。



胆沢



江刺



前沢



衣川



旧緯度観測所本館が「引っ越し」

国立天文台から市に譲渡された旧緯度観測所本館の耐震補強・改修工事が本格化し、8月22日には建物を移動させる曳き屋工事が行われました。

外壁や屋根瓦が取り外され、前日までにジャッキアップされた旧本館は、10分間に1メートルの割合で、南に18メートル、西に1メートル移動しました。旧本館は大正10年の建築。現水沢観測所本館の建設に伴い、昭和41年に現在地へ移設されていました。

改修工事終了後、来年4月から生涯学習・市民交流の場として一般公開される予定です。



骨格だけとはいえ約70トもある建物がジャッキで持ち上げられる



南北に大きく移動した建物（写真右側が北）。上が移動前、下が移動後